

こんなことやってるよ



長野日大の中学生が環境保全に挑戦中!

～飯綱高原の豊かな自然と共に生き続けるには?～

🍀 長野日本大学学園の挑戦

～「ウェルビーイング」を目指した人づくり～

現代社会は AI をはじめテクノロジーの飛躍的な進化がある一方、飢餓、貧困、紛争など国際協調の必要な諸課題が浮き彫りになり、混迷の度合いをますます深めつつあります。そのような状況を踏まえたとき、学校現場には従来の知識重視の学びだけではなく、協働を重んじながら主体的に課題を解決できる、価値創造的な人間を育成するための学びのカタチが求められているのではないのでしょうか。また、本校では近年、「ウェルビーイング」を旗印に、生徒一人一人のよりよい自己実現を目指すことを何より大切にしてきました。

探究創造コースでは、そのような時代の要請と本校の教育理念を礎とし、自ら問いと仮説を立ててこれを検証し、さらにその検証結果をもとに考究を続ける学び、すなわち探究学習を存分に行える学習環境を整備しました。そして、「自分の『好き』な分野で活躍し、社会に価値を生み出せる人」を目指す生徒像として掲げ、ここから必要な 5 能力・5 姿勢を定め、これに紐づく授業を計画・実施しています。

🍀 飯綱高原環境保全探究について

探究創造コース 1 期生の生徒 35 名は、価値創造的な探究の意義や手法を学ぶために、飯綱高原を舞台に探究学習を行っています。昨年の 9 月に茶臼山動物園にて獣医師の先生よりお話を頂くことからスタート

し、日本大学生物資源科学部様、長野県環境保全研究所様、やまぼうし自然学校様、霧ヶ峰自然教室様、峰の原高原 MiNe 様など、多くの方々にご支援を頂きながら、環境保全の意義や実態についての講義と体験を通して学ぶことができました。そして、本校が飯綱高原に所有し、長い間使用されていなかった研修所グラウンドを「探究フィールド」とし、当地を将来的に自然共生サイトとして OECM に登録することを目指して、飯綱高原環境保全探究を推進しています。

生徒は昨年度の発表会で、当地を花園として整備し、レストランや遊具も設置することで、人と自然が豊かに共生できる場所となるという保全仮説を披露しました。しかし、今年に入って実際の保全地を見学させて頂くことや、現地の植生を調査することを通し、当初の保全仮説には再考の余地があることに気づいていきました。たとえば美しい草花であっても当地の生態系のバランスを崩すものを植えることはできない、当地の草花の中にも優先して保全すべきものと除草すべきものがある、そしてその境界線は人の側が決めたものでしかない…など、様々なことに思い至る中で、生徒らは仮説のブラッシュアップに取り組み始めています。

今後も多くの方々にご支援いただきながら、この雄大な飯綱高原で探究学習を進めていく予定です。末筆に、ここまでご支援をいただいたすべての皆様に、心より感謝申し上げます。引き続き、温かなご支援を賜りますよう、何卒よろしく願いいたします。

(長野日本大学中学・高等学校 白鳥 敬秀)



写真1 実際の保全地を案内していただきお話や体験を通して学んだことを自分たちの保全仮説に生かしています。



写真2 環境保全研究所の授業で生物多様性を守ることや環境保全の意義を学んでいます。